# 「九州の未来力２０３０」第１回会合の概要

１．開催日時：平成２５年１２月４日(水)１４時００分～１６時２０分

２．開催場所：福岡合同庁舎本館５階　共用第４会議室
　　テーマ：「アジアと九州の構造変化」

３．議事概要
⑴　報告
①「九州イノベーション・ハブ構想」
（日本政策投資銀行九州支店長　鈴木恵一）
②「我が国の税・財政の現状と課題等」（福岡財務支局長　高木隆）

⑵　プレゼンテーション
「アジアと九州の構造変化」（九州経済調査協会理事長　森本廣）
＜要旨＞
　アジアのダイナミズムを九州に取り込み、同時に人口高齢化社会に順応していくためには、九州産業のグローバル化とアジア諸都市のモデルとなる安全でコンパクト、快適かつ利便性の高い都市作りが必要である。このためには従来の一極集中の三層構造から、九州各都市の都心と郊外が生きていて楽しくかつ住み易く（ハイクオリティー都市）、さらにはグローバルネットワーク都市として、どの様な姿でアジアシフトしていくかという、東京オリンピックのさらに10年先を見据えたオール九州の構想が必要な時代となっている。

⑶　意見交換（一部複数人の意見を集約）
・　本会合では、これまでの提言や報告書等で多かったマクロ的総花的アプローチではなく、ミクロ的選択的アプローチを重視してはどうか。
・　オール九州で成長するアジアと向き合っていくためには、グローバルな人材の育成に力を入れ、九州を国内外の人の流れが向かってくるような魅力的な場所とするための取組みが必要である。
・　日本に対するアセアン諸国等の期待度・信頼度は依然として高いものがあり、これに応え続けていくには日本の競争力の回復が不可欠である。地方・企業が自立するとともに、そういった企業等が活動しやすい環境整備が必要である。

・　人口減少社会を迎えるに当たって、九州発で都心と郊外の街づくりのビジョンを作ってはどうか。
・　農業を食品産業全体の中で捉えるなど、産業の在り方について新たな視点が必要である。
・　女性が新しい市場の発見や消費を牽引している事実に目を向け、女性の力を引き出すための価値観の転換が必要である。
・　行政の枠にとらわれずに九州をひとつとして考えてはどうか。次世代が引き続き日本の質を高めていけるのかを考える必要がある。質を高めることで九州に人を呼び込むべきである。
・　世界を誘致することに力を入れる必要がある。英語力が重要であり、どのように英語教育のレベルを上げるのかが課題である。
・　九州の企業を育てることが九州の発展に繋がる。企業をどのようにサポートしていくかも重要な課題である。
・　九州をひとつと考えた（オール九州の）場合、福岡と九州の他の地域との棲み分けと連携のあり方が課題となるのではないか。

４．次回会合
日　時　：　平成 26 年２月 13 日(木)
テーマ　：　「九州農業の６次化展開」

以上